

教科	理科	科目	地学基礎	担当	
履修学年	2年	単位数	2	履修区分	普通科文系（必修修）
教科書	地学基礎(実教出版)				
副教材等	地学基礎[新訂版]演習ノート(実教出版)				

1 学習目標

地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成すること。

2 学習評価

評価の観点	科目の評価の観点の趣旨
a 知識・技能	地学や地学現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
b 思考・表現・判断	地学や地学現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
c 主体的に学習に取り組む態度	地学や地学現象について関心をもち、主体性を持ってそれらを探究しようとするとともに、地学の共通性と多様性を意識する等、科学的態度を身につけている。

3 全体計画

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法	
					a	b	c			
前期	4 6	(1)地球のすがた -(ア)惑星としての地球	1章 地球の構成と運動	1節 地球の形と大きさ	○	○	○	a 地球の形や大きさを、身近なものに例える等しながら説明できる。地球の層構造について理解できている。 b 地球の2点間における中心角度と距離より、地球のおおよその大きさを求めることができる。 c 周囲の生徒と協力しながら、地球の形や大きさ、内部構成について学びを深めている。	授業態度 授業中の演習 課題 考査	
	前期中間考査									
	6 9	(1)地球のすがた -(イ)活動する地球	2節 プレートの運動 3節 地震と火山	○	○	○	a プレートの境界の違いを理解し、その違いを説明できる。また、それをプレートテクトニクスによって説明できる。 b プレート境界から、火山や地震、大山脈等の大地形の成り立ちを説明できる。 c 周囲の生徒と協力しながら、地球で起こる地学現象やプレート運動について学びを深めている。	授業態度 授業中の演習 課題 考査		
		(2)変動する地球 -(ア)地球の変遷	4章 古生物の変化と地球環境の変化	1節 地層のつき方 2節 化石と地質時代の区分	○	○	○	a 化石の分類や地層を判断する方法についての基本的な知識が身に付いている。 b 地質図から地層の前後関係を判断し、時系列で並び替えることができる。 c 周囲の生徒と協力しながら、地層の観察方法について学びを深めている。	授業態度 授業中の演習 課題 考査	
前期末考査										

期	月	内容の まとめ	単元 (題材)	項目 (学習内容)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
					a	b	c		
後 期	9	(2) 変動する地球 -(ア) 地球の変遷		3節 古生物の変遷と地球環境	○	○	○	a 各地質年代の特徴、及び違いについて基本的な知識を持っている。 b 身に付けた基本的な知識を生かして、各地質年代当時の地球と、今の地球との違いを説明できる。 c 周囲の生徒と協力しながら、地球の歴史や生物の変遷について学びを深めている。	授業態度 授業中の演習 課題 考査
	11	(1) 地球のすがた -(ウ) 大気と海洋	2章 大気と海洋	1節 大気の構造と運動 2節 大気の大循環 3節 海洋の構造と海水の運動 4節 日本の四季の気象と気候	○	○	○	a 大気の運動を、気体の圧力・温度・体積などの物理的要因からとらえている。また、そこから自然現象を科学的に説明できる。 b 気圧配置図や雲の様相などから、天候の様子・変化を説明できる。 c 気象に関わる話題に興味をもち、周囲の生徒と協力しながら、気象について学びを深めている。	授業態度 授業中の演習 課題 考査
	後期中間考査								
	11	(2) 変動する地球 -(ア) 地球の変遷	3章 宇宙、太陽系と地球の誕生	1節 宇宙の誕生 2節 太陽の誕生 3節 惑星の誕生と地球の成長	○	○	○	a 太陽系の天体の特徴や違いについて基本的な知識を身に付けている。太陽系や宇宙の大きさについて理解できている。 b 太陽系の成り立ち、恒星の誕生から終末までの進化、宇宙の誕生から現在までの成り立ちについて系列的に説明できる。 c 宇宙に関わる話題に興味をもち、周囲の生徒と協力しながら、宇宙のついで自ら問いを立て、学びを深めている。	授業態度 授業中の演習 課題 考査
	3	(2) 変動する地球 -(イ) 地球の環境	5章 地球の環境	1節 日本の自然環境 2節 地球環境の科学	○	○	○	a 四季を中心として、日本列島の気候について地学的な側面から理解できる。 b 日本及び世界の自然災害について、要員及び対策について説明できる。 c 自然災害の要因について理解し、周囲の生徒と協力しながら、災害対策について学びを深めている。	授業態度 授業中の演習 課題 考査
	後期末考査								

4 評点の観点別配点(考査以外も含む合計)

	前期中間	前期末	後期中間	後期末
a	30	30	30	30
b	30	30	30	30
c	40	40	40	40
計	100	100	100	100

5 授業や課題等に取り組む上での留意点

(1) 教科書をよく読み、地学用語の意味を正確に理解する。 (2) 復習に重点を置き、分からない部分を放置せず先生に質問するなどして理解に努める。(3) 授業全体を通して、周囲の生徒と協力しながら課題解決に努める。
--

※変更がある場合は、教科担任が事前に連絡します。